

## 第17回 高水協議会 要旨

日 時：平成 19 年（2007 年）1 月 26 日（金） 午前 10 時～午後 4 時  
場 所：あがたの森公民館 本館 2 階 2-8 教室（松本市）  
出席者：19 名中 14 名

### 次 第

- 1 開 会
- 2 連絡事項
- 3 議 事
  - (1) 最終報告書の作成について
  - (2) その他
- 4 閉 会

### 決定事項

- 1 第 18 回高水協議会は、平成 19 年 2 月 7 日（水）に長野県庁会議室で開催する。

### 配布資料

番号	資料番号	資 料 名
133	野原会員資料	・ 資料128 図 - 6 実測ピーク流量の年超過確率
134	野原会員資料	・ [浅川]流出解析により求めた洪水ハイドログラフの検証
135	小松会員資料	・ 洪水確率について
136	小松会員資料	・ 浅川10降雨引伸ばし後の流量計算(雨量確率、飽和雨量との関係)
137	小松会員資料	・ 不思議なサイコロの話

資料は県庁内の長野県行政情報センター及び諏訪、上伊那、下伊那、松本、長野、北信の各地方事務所内の行政情報コーナーで閲覧できます。

### 議事要旨

最終報告書は、「提言書」と各会員の意見・資料等をまとめた「(仮)会員の検討・研究の成果」で構成することについて再確認を行った。

- ・ 枠組みについてはよいと思うが、提言書の中に検証結果を入れないといけない。  
(5 野原)
- ・ 基本高水そのものについては文章だけでは分かりづらい。降雨を2倍に引き延ばすことによって基本高水が過大になるというシステムが問題であり、そのことを多くの人に理解してもらうためには、1例か2例でも事例を示さないと分かりづらいのではないか。  
(20 武田)
- ・ 構成はよいと思うが、文章だけでは分かりにくい。中間報告書はよくまとまっているので、そこから選んで最終報告書に記載すればすっきりするのではないか。(16 山岸)
- ・ 中間報告書も最終報告書の後につけてはどうか。(座長 塩原)

- ・中間報告書を盛り込むことには賛成である。最終報告書と中間報告書を分けずに整理して入れてはどうか。(11 中沢)
- ・浅川ではピーク流量群が2倍の幅を持っている。どれを基本高水とするかについては正しい答えはなく、大熊先生も住民の選択の問題だと言っていた。幅を持っているという事例などを示して文章で説明してはどうか。(20 武田)
- ・検証結果や武田会員の指摘は、今までの手法への問題提起の項目のところで整理できる。(12 小林)
- ・基本高水が過大であるということは数値を示して説明しないといけない。私の資料で分かるように明らかに間違いであり、これを本文に入れるように要望する。(5 野原)
- ・合意されなかった意見については、個人の意見として別冊にすることには反対しない。私の洪水確率についてのレポートは、洪水確率WGで議論をしたが一致を見なかったという本文の補足の説明のためのものであるので、本文の付属資料につけるように要望する。(1 小松)

最終報告書は、「提言書」と各会員の意見・資料等をまとめた「(仮)会員の検討・研究の成果」で構成することを確認した。

提言書(案)(H19.1.26)に基づいて、「2 河川砂防技術基準について」、「3 河川法と住民参加について」まで、修正、追加等の審議を行った。  
(修正、訂正等の要旨については省略)

その他

- ・今後の予定についての説明。次回第18回高水協議会は2月7日(水)に長野県庁会議室で行うこととし、時間は午前10時30分から午後4時まででいかがか。(事務局)
- ・本日の会議の冒頭で、最終報告書の構成について確認をしていただいたが、野原会員より資料-127を本文に入れたいという要望があり、この資料の扱いについて次回審議して決めていただきたい。(事務局)
- ・提言書の中で基本高水の議論が弱いという指摘に対しては、起草WGで再検討を行い、次回原案を示す。

〔閉会〕